

歌声喫茶への想い出がいっぱい

★日にち：11月24日（金）
★時間：18：30～20：00
★場所：赤平市公民館「喫茶ラビカ」
*日本の民謡、世界の民謡
*フォーク、世界の民謡
みんな楽しんで歌っています。
歌が好きなお人、歌声喫茶が懐かしい人
参加し歌は健康に良い事が実感できます。
是非 お気楽にご参加ください。お待ちしております。
★アコーディオン演奏：工藤光雄氏



ありがとう

支援センターラビカ「あ、の活動にご協力いただいたみなさんです。

佐藤秀俊さん、他「市民のひろばまつり」にご協力いただいた皆さん

本当にありがとうございました。

*ここ最近のボランティア状況についてのお知らせでした。ご芳名もれの方がおりましたら、お許しいただきたく思います。

ラビカの屋根裏部屋

青柳 省三 (ラビカルチャー7)

「屋根裏部屋」に書きたかった裏話

月刊『社会教育』（国土社）8月号に、赤平市公民館のことが載りました。今年5月、私のところに電話があり、赤平のNPOが指定管理者制度で公民館を管理運営していると聞いたので書いてくれとの話し。相手は日本体育大学の上田さんという教授で、前述の雑誌の編集者だという。指定管理者制度の是非を批判的に評価するのが編集の意図らしいが、突然の申し出を二つ返事で引き受けたものの、内心気分が重かった。そもそも、指定管理者制度は究極の自治体リストラなどと言われ、研究者には評判が悪い。でも、赤平のNPOは協働の理想に燃え、公民館の指定管理者として市民の手で社会教育活動をやってるのだ！と言いたかった。

締切りが迫ったある日、原稿のことで上田先生と電話で話すうちに、すっかり意気投合。北海道公民館協会から赤平の情報を入手し、以前から注目していたのだという。ものすごく好意的な態度で、赤平には興味が尽きない様子。

後日、所用で来道した先生が、ぜひ会いたい、行ってみたいと公民館にやって来たのです。手土産を持って現れた先生は、私たちが考えていたとおり、カッコいいステキな男性でしたよ。

